〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 Fax. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:htt://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM
市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

11 月号
第 60 巻　第 10 号
2015 年

無 料
Free

もくじ

今月の1枚 …… 1ページ
・「信濃大町 山岳フェスティバル 2015」が開催されました
お知らせ …… 2ページ
・「どうぶつ写生大会」入賞作品のご紹介
イベントのご案内 …… 3ページ
・『ライチョウサポーターズ』養成事業
博物館のひろば …… 4ページ
・明科公民館主催「ひまわり講座④ 地域の歴史を学ぶ」への講師派遣
・黒部市歴史民俗資料館主催「特別展講演会」への講師派遣
・大町南小学校３年生の社会見学
・仁科台中学校の職業体験学習
・長野市立柳原小学校５年生の社会見学
・大町南小学校４年生の理科・社会科連携授業

秋晴れの北アルプスの展望が楽しめた会場周辺のようす

「信濃大町 山岳フェスティバル 2015」が開催されました

関　悟志

昨年はじめて開催された「信濃大町 山岳フェスティバル」（主催：同実行委員会）は、昨年の長野県「信州山の日」制定をきっかけに開催されたものでした。県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくとする「信州山の日」の趣旨にもとづき、今年も大町公園・山岳博物館・長野県山岳総合センターを会場にして、平成27年９月12日（土）に同フェスティバルが開催されました。

山岳博物館では、昨年同様、実行委員及び幹事会の構成員となり、イベントの準備・運営に協力しました。

イベント当日は、山岳博物館友の会サークル「ボランティアの会」メンバーの皆さんにご協力をいただきながら、博物館の本館や付属施設でさまざまな催しを実施しました。この日は終日どなたでも博物館へ無料で入館いただける「無料開放」とし、約400名の方々に入館いただきました。また、「スポットガイドツアー」と題し、博物館のスタッフが案内しながら、各展示コーナーなどの解説を行う催しを実施しました。このほかにも、博物館の展示フロアのチェックポイントをまわりながらクイズに挑戦していただき、北アルプスの自然や歴史についてたのしく学んでいただく「さんぱくクイズラリー」や、付属園の飼育動物を観察しながら園内に設置してある台紙に飼育スタッフ手作りのオリジナルスタンプを押して集め、たのしんでいただく「どうぶつスタンプラリー」を行いました。さらに、付属園内に「ライチョウサポーターズ制度PRコーナー」を設け、ライチョウ舎前にリーフレットを設置し、長野県と山岳博物館で実施中の同制度を広報して登録希望者を募りました。

今回のイベントは、博物館の展示や活動の内容について興味・関心を高めていただく好機となりました。

（市立大町山岳博物館 学芸員）

お知らせ

「どうぶつ写生大会」入賞作品のご紹介

8月8日（土）から9月27日（日）まで開催した「どうぶつ写生大会」に参加いただいた作品を「日本動物園水族館協会中部ブロック動物園・水族館写生大会」に応募しました。

その結果、長野県知事賞、長野県教育長賞、日本動物園水族館協会長賞、日本動物園水族館中部ブロック特別賞、大町市長賞、大町市教育長賞、大町山岳博物館館長賞は下記の7名の皆様が受賞いたしました。各賞を受賞された7名の皆様、おめでとうございます。ここではご紹介できませんでしたが、金賞・銀賞・銅賞を受賞された16名の皆様もおめでとうございます。残念ながら受賞をのがした作品も、いずれも素晴らしい作品ばかりでした。全作品の展示は11月3日（火・祝）まで行っておりますので、ぜひご来館ください。

来年も多くの方が参加され、動物への理解を深めながら、絵を描くことの楽しさにふれていただければ幸いです。

長野県知事賞　内川　遙斗さん
「すてきなトビ」

大町市長賞　傳刀　誠真さん
「じっとこわそうにみつめているトビ」

長野県教育長賞　江津　和稀さん
「大きなカモシカ」

日本動物園水族館協会長賞　菊本　ナツミさん
「ジャンプするキツネ」

日本動物園水族館中部ブロック特別賞　江端　美沙紀さん
「森であそぶはくびしん」

大町市教育長賞　平井　千秋さん
「水にうくカルガモ」

大町山岳博物館　館長賞　森田　真斗さん
「出てきたスバールバルライチョウ」

イベントのご案内

山岳博物館　市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています。11月は14日（土）と15日（日）です。

『ライチョウサポーターズ』養成事業

『ライチョウサポーターズ』養成事業とは？

長野県と大町市の鳥・ライチョウについて、平成26年度の県版レッドリスト※（動物編）の改訂を通じて、その絶滅のおそれが高まっている実態が明らかとなりました。このため、県と共同の取り組みとして、平成27年度から県民ぐるみでライチョウの保護を支える『ライチョウサポーターズ』養成事業を進めています。

※県内で絶滅のおそれのある野生生物をまとめたリストのこと。ライチョウは、絶滅のおそれが3番目に高いカテゴリー（絶滅危惧Ⅱ類）から２番目に高いカテゴリー（絶滅危惧IB類）に変更となりました。

『ライチョウサポーターズ』とは？

◇ モニタリングへの参加（生息状況等の情報提供）
◇ ライチョウ生息地のパトロール
◇ 大町山岳博物館でのライチョウに関する解説ボランティア
◇ ライチョウ関連イベントでのボランティアスタッフ
◇ ライチョウ保護に関する普及啓発活動

などの業務を過去のイベント※ に参加した方もしくはライチョウに特に関心のある方々で協力して行います。

※「爺ヶ岳でライチョウを観察しよう！」「付属園まつり」「山岳フェスティバル」「人と生きものつながり創生全国フォーラム」。

登録までの流れ

平成27年度～29年度に開催する『ライチョウサポーターズ養成講習会』を受講していただき、ライチョウについての基礎知識や業務内容を学んでいただきます。

本年度の講習会は11月15日（日）を予定しております。実際に活動できる方々を中心として募集させていただいておりますが、特に興味関心をお持ちの方もぜひご参加ください。

講習会終了後に認定式を行い、ライチョウサポーターへの登録完了とさせていただきます。

◇ 講習会への参加ご希望の方は、長野県環境部自然保護課または市立大町山岳博物館へお問い合せください。

参加資格

・長野県希少野生動植物保護監視員の方
・長野県自然保護レンジャーの方
・長野県自然観察インストラクターの方
・市立大町山岳博物館友の会会員の方
・一般の方
※中学生以下の方は親子で参加いただくことができます

お問い合せ

長野県環境部自然保護課
☎026-235-7178／✉shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

市立大町山岳博物館
☎0261-22-0211／✉sanpaku@city.omachi.nagano.jp

博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

明科公民館主催「ひまわり講座④ 地域の歴史を学ぶ」への講師派遣

平成27年８月１日（土）実施

安曇野市明科図書館が主催する「ひまわり講座④ 地域の歴史を学ぶ」に、当館の学芸員を講師として派遣しました。当日は、明科子どもと大人の交流学習施設ひまわりにて「小林喜作と喜作新道」と題した講演を行いました。

この講座は、年間数回開催されているもので、さまざまな分野の講演のほか、演奏会や体験講座などを毎回実施し、市民を中心に参加があるとのことです。当日は約30人の参加者がありました。より広い方々に、当館の展示に関わる山岳文化史の一端を知っていただく良い機会となりました。

【写真提供：明科図書館】

黒部市歴史民俗資料館主催「特別展講演会」への講師派遣

平成27年８月22日（土）実施

富山県の黒部市歴史民俗資料館が主催する「特別展講演会」（黒部市立中央公民館「市民大学講座」共催）に、当館の学芸員を講師として派遣しました。当日は、うなづき友学館にて「黒部と信州 ―北アルプス針ノ木峠周辺の山岳文化史からみた人びとのかかわり―」と題した講演を行いました。

今回は同資料館の特別展「黒部峡谷探検 吉沢庄作と冠松次郎」開催に伴う講演会で、当日は約60人の参加者がありました。今後もこうした機会を通じ、富山・長野両県側から北アルプスの歴史をとらえ、多面的な山岳文化史の実像を探っていきたいと考えます。

【写真提供：黒部市歴史民俗資料館】

大町南小学校３年生の社会見学

平成27年９月１日（火）実施

大町市立大町南小学校３年生（２クラス47人）が社会見学で山岳博物館を訪れました。この見学では、社会科の単元として「身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子」を学ぶほか、展示を通して山の動物や歴史の概要についてもふれました。

北アルプス山麓の市街地周辺を一望できる当館3階では、児童たちは眼下に広がるまちの様子を観察しました。学校や駅、工場などの建物を探し、建物が多いところ、田んぼや畑が多いところなどを確認して、市内の土地利用の特徴をつかんでいました。

今後も、学校の各単元学習で、当館を利用していただければ幸いです。

仁科台中学校の職業体験学習

平成27年９月９日（水）・10日（木）実施

大町市立仁科台中学校２年生２人が当館で２日間の職業体験学習を行いました。

当館では、学校教育におけるキャリア教育推進に協力しており、年間を通じて随時、市内や近隣町村の中学生や高校生の職業体験学習を受け入れて実施しています。当館で体験していただく仕事内容は付属園での動物飼育管理業務です。

動物飼育員の指導のもと、餌の調理・給餌、飼育舎の清掃、園内の整備という通常業務をひと通り体験していただきました。写真にあるように、園内の除草作業にも黙々と取り組んでいただきました。

今後の進路の参考になれば幸いです。

長野市立柳原小学校５年生の社会見学

平成27年９月17日（木）実施

長野市立柳原小学校５年生（２クラス57人）が、郷土の観光産業などについて理解を深めて社会科の学習に役立てる社会見学で、当館を訪れました。館内では学芸員の案内・説明によって、３階の床面地図などの展示を活用して北アルプス周辺の地理を確認し、登山などの山岳観光について学びました。また、１階に展示された民具や山小屋などの資料を通じ、３年生時の社会科で学んだ「昔の道具」について復習を行うとともに、山の歴史について学びました。

今回のように市外や県外の学校からも、各種学習で当館を訪れていただく機会が増えていくことを期待しています。

大町南小学校４年生の理科・社会科連携授業

平成27年９月30日（水）実施

大町市立大町南小学校４年生（２クラス60人）が、動物に関する理科授業と郷土の人物に関する社会科授業を館内で行いました。これは、当館の展示を利用した学校との連携授業のひとつで、学校教育と社会教育との連携・融合（学社連携・融合）推進として、平成22年度から試行し、24年度から市内の全小学校を対象に取り組んでいるものです。

当館では、引き続き博物館を利用した小学校での各教科授業の定着をめざすとともに、博物館の収蔵資料や学芸員などの職員を学校の授業で活用していただくことで、より身近な博物館をめざしていきます。

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM
― 創立 1951 年 ―

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211 Fax. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:htt://www.omachi-sanpaku.com

11 月号
第 60 巻 第 10 号
2015 年

発行日　2015（平成 27）年 10 月 25 日

印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030 FAX.0261-23-2010